

広報

No. 106



昭和57年4月15日

発行・編集 国見町企画課

昭和57年度町予算決る……………2~4

町助役・町議会副議長決る……………5

あの人この人……………5

—斎藤喜代太さん—

昔ばなし……………6

公民館だより……………8~9

おもな内容



'82

4月

春一番

4月3日、森山の神明神社ではしばらくぶりにみこしを  
かついで、椿咲き、梅香る野の道々を練り歩いた。

# 700万円

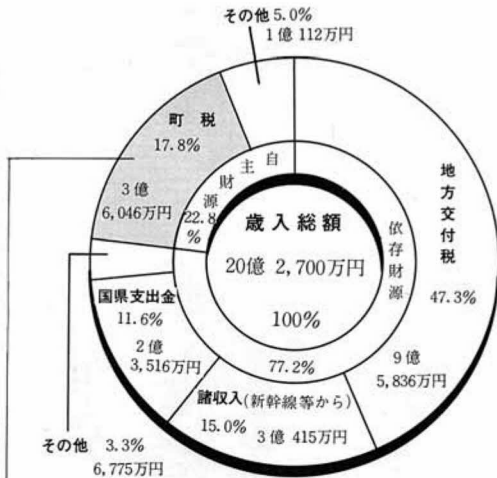
## 昭和57年度予算決まる

構成比でトップは歳入の四七・二%を占める地方交付税で、前年度に比べ一億円増の九億五千八百万円、二番目の町税は四千円増で三億六千四百六十六万円、全体の一七・八%です。

第三位は諸収入で、新幹線からの湯水恒久対策の受託金が三億円以上も増え一六・三%を占めました。

また、第四位の国庫支出金は、藤田小学校改築負担金一億五百万円減のため、前年度より一三・五

### 歳入



昭和五十七年度の町予算が、先月十六日に町議会で議決されました。

一般会計予算総額は、二十億二千七百万円で、前年度当初予算に比べ一億六千七百万円の増、九%の伸率です。

町税収入や地方交付税、補助金の伸びが期待できない反面、義務的経費や一般経常経費の増があり、前年度に増して厳しい予算となりました。

この中で、当年度の重点事業としては新幹線蔵王トンネル掘削による湯水恒久対策事業の完成と、住民体育設備充実のため校庭夜間照明設備事業等が挙げられます。

## 湯水恒久対策事業に重点

%減少しています。第五位の県支出金も農林水産業費補助金の減で金額で四千万円、率にして四〇・八%の減少です。

以上の五科目で全体の九三%を占めています。

なお、前年度第四位であった町債は、藤田小完成と臨時地方道整備債の減少のため、前年度の十分の一の千五百万円になりました。

自主財源は三二・八%

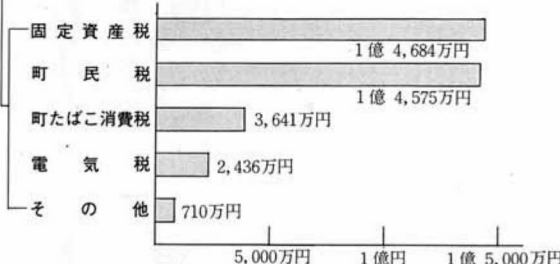
歳入予算を自主財源(町税)が収入額を見積り徴収する自主財源(町税)と国庫等依存財源(国庫等から交付されたり、割り当てられる収入)とに分けると、自主財源は構成比

で前年度より三・八%低い二二・五%となっています。これは、繰入金金が前年度より七千万円減少したためです。

**町税**

昭和五十七年度の町税収入は、歳入総額の二七・八%を占め、自主財源のうち八三%とその大半が町税です。

昨年度と比較し二二・六%の伸びとなっていますが、これは給与所得の伸びによる土地分増(個人区分)の増と評価替による土地分増の固定資産税増、電気料金値上げの平年度備による電気税の増のためです。



**固定資産税**  
1世帯当り  
44,706円

**個人町民税**  
1人当り  
11,029円

税の負担



▲ 平太郎沢調整池予定地 (治水対策事業)



▲ 改修予定の太田沼 (治水対策事業)



▲ 夜間照明設置予定の県北中

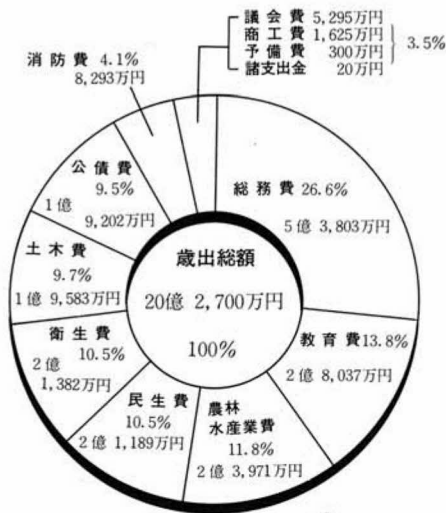
# 一般会計

# 20億2,700万円

## 歳出

目的別にみて構成比の高いものは総務費、教育費、農林水産業費、民生費、土木費、公債費の順となっています。

前年度と比較して伸び率の高いものは、総務費が約二倍強に伸び、第一位です。これは新幹線治水対策事業の溜池、貯水池工事等関係費のためです。次いで農林水産業費が、種子センターを主とした補助事業費増のため一・三倍の伸びです。反対に、昨年度構成比が第一位だった教育費は、藤田小完成のため約二分の一の額になっています。費目ごと主なものを挙げました。



## 農林水産業費



- ▶ 地域農業生産総合事業補助金…………… 7,368万円
- ▶ 水田転作基盤合理化促進事業補助金…………… 958万円  
(徳江、大木戸地区パイプハウス 10,800㎡)
- ▶ 農山漁村振興特別対策事業補助金…………… 540万円  
(トラクター2台、大木戸、西大枝)
- ▶ 落葉果樹低位生産園再開事業補助金…………… 420万円  
(大木戸地区桃園再開発 4.2ha)
- ▶ 落葉果樹高能率生産集団育成事業補助金… 352万円  
(中山原給配水施設 20ha)
- ▶ 赤坂林道県事業負担金…………… 500万円
- ▶ 町営牧場分婍小屋新設工事 (59㎡) …… 213万円
- ▶ 手づくりの村整備 (子供遊び場、高城、大木戸) …… 203万円

【次のページに続きます】

## 総務費



- ▶ 治水恒久対策事業費…………… 3億 100万円  
(うち溜池等工事費…………… 2億 2千万円)
- ▶ 交通安全運動啓発等…………… 405万円
- ▶ 町税の計算センター等委託料…………… 343万円
- ▶ 広報く にみ発行費…………… 143万円
- ▶ 公害騒音測定器購入…………… 70万円

## 土木費



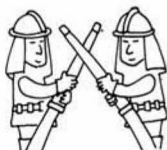
- ▶道路新設改良事業費……………1億 730万円  
(単独拡幅改良舗装工事は12路線)
- ▶道路維持費用……………1,823万円
- ▶芳沼川(光明寺)改修……………800万円
- ▶町裏下水路工事(110m)……………800万円
- ▶ダンプカー(2t)購入費……………200万円
- ▶町営住宅畳購入費……………154万円

## 商工費



- ▶商工中小企業近代化、合理化促進預託金… 800万円
- ▶商工業振興費補助金(商工会へ)……………400万円
- ▶労働者金融対策預託金……………200万円
- ▶街路灯維持費補助金……………65万円

## 消防費



- ▶伊達地方消防組合分担金……………6,110万円
- ▶団員制服……………328万円

## 公債費



- ▶町債元利償還金……………1億 9,152万円

## 教育費



- ▶学校施設開放夜間照明設備……………1,600万円  
(県北中)
- ▶阿津賀志防塁跡買上、移転補償費……………854万円
- ▶大木戸小プール循環装置工事費……………418万円
- ▶藤田幼教室増築工事費……………220万円
- ▶三町給食センター分担金……………3,902万円

## 民生費



- ▶老人医療費……………7,693万円
- ▶老人家庭奉仕委員委託料……………153万円
- ▶敬老祝金……………147万円
- ▶養護老人ホーム組合負担金……………217万円
- ▶児童手当交付金……………2,366万円
- ▶藤田保育所運営管理費総額……………4,373万円
- ▶季節保育所開設費(4か所)……………1,053万円
- ▶乳児医療費扶助費……………164万円
- ▶乳児医療費国保会計繰出金……………174万円

## 衛生費



- ▶公立藤田病院組合負担金……………1億 758万円
- ▶伊達地方衛生処理組合負担金……………5,115万円
- ▶水道事業会計貸付金……………1,000万円
- ▶各種検診等委託料……………784万円
- ▶各種予防対策委託料……………200万円
- ▶ごみ収集委託料……………660万円

### その他の特別会計予算

会計名	本年度額	前年度額	比較
国民健康保険	5億2,800万円	5億1,500万円	1,300万円
貝田簡易水道	572万円	595万円	△ 23万円
育英	396万円	529万円	△ 133万円
入山財産区	805万円	491万円	314万円
藤田財産区	92万円	50万円	42万円
大木戸財産区	32万円	19万円	13万円

### 水道事業会計予算

科目	本年度額	前年度額	比較	
収益的	収入	1億2,145万円	9,085万円	3,060万円
	支出	1億2,145万円	9,361万円	2,784万円
資本的	収入	1,882万円	1億 370万円	△ 8,488万円
	支出	2,980万円	1億1,714万円	△ 8,734万円

※資本的収入額が支出額に対し不足する額1,098万円は、当年度分損益勘定留保資金で補てん。

特別会計

# 助役に渡部前総務課長

## 四月六日から就任

前任者の秦三郎さんの退任以後

空席であった助役に、今月六日付で渡部直人前総務課長が就任しました。



渡部さんは、昭和九年生まれの四十七歳。この若さと、昭和二十五年以来の長い行政事務経験、町長補佐の立場から町政に生かされるものと大きな期待が寄せられています。よろしくお願ひします

# 副議長に宍戸二郎さん

## 四月五日選任



町議会副議長の職は八巻正雄さんが病氣養療のため辞職して空席となっていました。四月五日の臨時町議会で宍戸二郎さん（森山字宮前一八〇六一歳）が指名推薦で選任されました。

宍戸さんは、昭和四十六年四月初当選で現在三期目です。

# 佐久間さんに厚生大臣表彰

佐久間岩吉さん（藤田字北四〇）



（七十六歳）は多年の民生委員、児童委員の功績により、このたび厚生大臣表彰を受けられ、今月八日町長から伝達されました。

佐久間さんは昭和四十年から十五年来までこの職にあり、社会福祉に貢献されてきた方です。おめでとうございます。

# あの人この人

55

川柳とともに  
齋藤喜代太さん  
徳江字館ヶ崎32 (61歳)

光陰は疾も過ぎる程か  
先

「暮しの足しにと、十五年ばかり東京方面に出稼ぎに行っていました。毎日の仕事を終え、無聊を闘って、よく街を出歩いたものです。ある日、公園のベンチで休み、雑誌の切れ端を見るときにみていましたところ、川柳が



「暮しの足しにと、十五年ばかり東京方面に出稼ぎに行っていました。毎日の仕事を終え、無聊を闘って、よく街を出歩いたものです。ある日、公園のベンチで休み、雑誌の切れ端を見るときにみていましたところ、川柳が

あつたのです。これが川柳との出会いとなった。「人生をつき放してみよう」に引かれました。駄句であつてもつくること事態が面白い。すぐ病みつきになりました。おとなしく語りかける齋藤さんは、川柳を始めて十五年になるという。「とても人さまに見せるようなしろものではない」と謙遜する。

人のよい感じの面影には、とても和歌をこなし、狂歌にたわむれ俳句を詠み、川柳をひねる人とは思われない。

○後家さんは つばめの分まで魚買ひ（あらぬことを想像して、ひとり悦に入つて齋藤さんの姿が目に見えるようである）  
そもそも川柳とは、江戸時代後

期に発生した十七音律の文芸に属しており江戸小唄（こぼなし）などにはよくみられる。このうがらは真のうがらに向わず軽く世間の矛盾をつき人間の弱点をおかしくは強化され、その誇大化とともに、いつそうこけい化したいといわれている。

ともあれ、旅行の好きな齋藤さんの手元には、旅のさきぎさで書いたことを書き綴つた手帳がず高く積まれている。いままでも旅先での発句は短冊にままだと、それぞれの趣向をこらして、なげしに掛けてある。旅のつれづれに詠んだ句の数々には、いろいろなものがあるが、中から傑作の一つ二つを紹介してみよう。

○いわれより手洗さがす観光地 京都  
○腹一杯ガイドの説明子守唄 串本  
○知事訓話なまの料理に手をだすな。

世相を風刺し物ごとをつねに覚めた目で見ていなければ、とてもこんな句はでてこない。

毎年正月二日、書初めの行事には丹紙の整理をかねて、半紙に写しとった、狂歌・川柳の類が第七号を数えた。館ヶ崎のひっそりとしたただいまの中のかくれた風流人である。

### 駐在所主任の異動

四月から、桑折警察署の藤田駐在所と大木戸駐在所の主任警官が変わりました。

藤田には、菊地さんの後任に高橋善吉巡査部長が、大木戸には芝さんの後任として小石川秀樹巡査部長がそれぞれ新しく赴任しました。

地区の皆さん、よろしくお願います。



小石川巡査部長



高橋巡査部長

### 県から社会教育主事

教育委員会では、社会教育の振興と阿津賀志防塁に代表される文化財整備を計るため、四月一日付で県からの社会教育主事の派遣をします。



渡部社教主事

派遣されたのは、渡部正誼さん（福島市四十歳）で、三月までは県立福島高の国語の先生でした。趣味はスポーツならなんでも、その他音楽、読書と幅広く、どんな話題にも事欠きません。

向う三年間、よろしくお願います。

### 町職員の異動

年度末の退職、年度初の採用等は次のとおりです。

▼退職 ○佐藤トヨ子（保健課保健婦）○佐藤喜代（藤田保育所給食調理員）

▼新採用 ○蓬田恭子（保健課保健婦）○大津郁子（藤田幼稚園教諭）

○安藤信男（県出向）



佐藤 喜代



佐藤 トヨ子

お世話になりました



大津 郁子



蓬田 恭子

よろしくお願います

### 佐久間さんが再び

人権擁護委員



このたび佐久間いちさん（塚野目字北塚二八）は法務大臣から再び人権擁護委員に委嘱されました。

佐久間さんは昭和五十年から人権擁護委員を務め、佐藤善次郎さん（小坂）と佐久間岩吉さん（藤田）とともに、もめごと、悩みごとなどの相談を受けています。内容は絶対に秘密です。

で、困ったことがあったらお気軽に相談してください。

あなたは、昔話をしってる？それとも知らない？

昔話には、世知がら世の中に、一服の清涼剤としてユーモアのある知恵、相手を怒らせないで、笑いのうちに問題を解決しようとした先人たちの智慧があります。

これは、心にゆとりがなくては生れるものではありません。日本の民話の中には、たくさんの笑い話がありますが、われわれ祖先の遺産といわなければなりません。

あなたもきつてこれらの話に、思わず頬がほころび、ばんとひざをたたくに違いありません。



ザーツと昔、滑沢村に釣のだいすきな内村先生という人がいました。

毎日釣竿をかついで、林や竹藪のある細い道を通って、藤田の高台にある淋しいため池に釣糸をたれていました。

先生の家には、心のやさしいきれいな娘がおり、弁当箱の变りにえさ箱を大事に抱えて出かける先先に、弁当を届けるのを日課としていました。

ある日、弁当を届けたはずの娘が家にきりません。不審に思った

そこで皆は、後の世でもたたりがあるといけないというので、頭の方に権現様を祀り、尾の方には弁天様を祀りました。

それからは、だんだん藤田の町も拓けて、権現様も弁天様も繁昌しました。今でも内村家の守護神として弁天様が祀られているそうです。

また、昭和の初め頃まで親月台の池のほとりに行くと、生きた弁天様のお姿が拝めたということがあります。（木曜会聞書・昔話から）

全国山火事予防運動月間

# 山火事注意

山火事の発生しやすい時期になりました。火の始末には十分気をつけましょう。

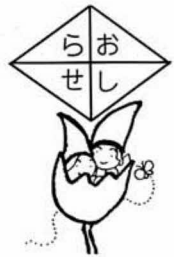


山歩く 心にいつも 火の用心

山の火をくすぶるときは  
燃付た薪の薪を消すべし。

広げよう 緑を守る 保険の種 福 島 県

- 町福祉協議会に
- ◆吉田孝司さん(宮町北) から  
三万円―故力さんのご遺志
  - ◆菊地さと子さん(十二) から  
七十万円―拾得金を恵まれない  
人に
  - ◆今野としのさん(駅前)  
二万円―故喜代太郎さんのご遺  
志
  - ◆石澤善一さん(大町南) から  
二万円―故十三治さんのご遺志



- 輸血などに感謝して
- ◆八島重留さん(鴉町) から五万  
円―交通安全、交通遺児など思  
まれない人に
  - ◆軍恩連国見町分会から  
一万二千元―
  - ◆野村和夫さん(板橋) から  
三万円―故隆一さんのご遺志
  - ◆福島信用金庫(吾妻哲夫理事長)  
から  
三十万円―社会福祉基金として
  - ◆安藤 進さん(前田) から五万  
円―故庄七さんのご遺志、
  - ◆八島重留さん(鴉町) から三万  
円―県北中生徒故房文君のご遺  
志
  - ◆県北中学校に

## こよみ

4月 卯月(うづき)	5月 皐月(さつき)
16日 夏花・ささげ種蒔始	1日 メーデー
17日 土 用	2日 八十八夜
18日 発明の日	3日 憲法記念日
20日 穀 雨	5日 こどもの日、親月台農業市
22日 清掃の日	6日 立 夏
29日 天皇誕生日	10日 愛鳥週間

## 心配ごと相談日

場所：役場二階相談室(東側入口からお入り下さい)  
時間：9時～12時  
こまったことや、相談ごとがありましたら、お気軽にご相談下さい。秘密は絶対に守ります。  
【相談員】  
4月24日(土) 吉川弥吉 阿部 キク  
5月4日(火) 椋沢 正 玉手マルヨ  
5月15日(土) 鈴木正雄 橋 ヤヨイ

## 思い出の写真

―観月台―

左の写真は、大正時代の観月台付近のものです。現在の駅前通りの福祉センター入口付近から撮ったものです。

右側の神社は富士神社、左手の建物は、今はありませんが、三階建の料亭「観月」です。

朽木松吉さん(前田・七十九歳)に当時のことを語ってもらいました。



朽木 松吉さん

「明治末か大正の初めには、駅前通りは十軒ほどの家だった。観月台は前田からでも見渡せた。沼の周囲には桜はなかったと思う。富士神社の脇の松の大きさを覚えていて、花見よりも沼の周囲で自転車競争が有名だった。参加は自由で三十分くらいを競い合った。大正の初めで、景品の自転車は、今では自動車くらい価値があったかも知れない。写真の料亭はお城のような建物だった。庶民にはなかなか行かれる所ではなかった」

●思い出の写真コーナーの写真を募集しています。古い写真がありましたら、企画課までお知らせください。

(電話二二二二)



国見町公民館  
電話 (公) 2676  
電話 (有) 4156

# かけ足でやってくる

## 高齢化社会

わが国の老年人口(六十五歳以上の人口)は、戦後、急速に増加してきており、また、今後さらに増えることが予想されています。では、老年人口の動きを数字で見てみましょう。

(三十年間で約二・五倍)  
百人のうち九人が六十五歳以上のお年寄り——昭和五十五年現在の六十五歳以上の老年人口は一千五百七十七人で、総人口の九〇%を占めています。

三十年前の昭和二十五年が四百十六万人でしたから、老年人口はこの間に約二・五倍になったわけです。また、総人口に占める割合も、この三十年間に四・九%から九・〇%へと約一倍に増えていきます。

このような老年人口の増加は今後も続き、二十三年後の昭和八十年には二百二十万人を上回り、総人口に占める割合も一七%を超えるものと推計されています。つまり、人口百人に対し十七人が六十五歳以上のお年寄りになるというわけですが、出生率の低下傾向はなお続くものとみられることから、人口の「老年化」の速度は推計よりもさらに早まると予想されています。

わが国における高齢化社会への



テンポがいかにも遅いか、欧米諸国の場合と比べてみましょう。  
(急速なテンポと規模で進む)  
例えば、国民全体に占める六十五歳以上の人口の割合が、五%から二二%に増えるまでの推計期間を比べますと、次のとおりです。

- フランス 百七十五年
- スウェーデン 百五十年
- イギリス 七十五年
- 西ドイツ 六十年
- 日本 四十年

このように、わが国の高齢化社会は、諸外国に例を見ないテンポと規模で進む——文字どおり「かけ足」でやってこうとしている。

こうした高齢化社会の到来は、わが国の社会・経済・文化など国民生活全般に大きな影響を与え、高齢者問題は、わたしたちにとってより重要な意味合いを持つてきます。

### 町高齢者教室

私たち国見町高齢者教室も、二〇%の大正生まれの方の参加があり、来るべき高齢者社会を生きぬくために、強じんな体力を、相互連けの豊かな情操を養うよう、スタートしたところです。

一つには、お互いの趣味を生かしたグループ活動、二つには、ゲームボール等による体力づくり等を計画しています。

みなさんの声をどうぞ  
公民館では、町民の皆さんの生の声を社会教育事業に反映させるため、一階ロビーにアイデア・ボックスを設置いたしました。  
ぜひ、皆さんの漸新なアイデアやご意見、ご要望をお寄せくださるようお願いいたします。

### 社会教育に

### みなさんの声をどうぞ



### 第16回国見町青少年健全育成剣道大会

第十六回国見町青少年健全育成剣道大会は、福島県剣道連盟、国見、桑折両町公民館の主催により、三月二十八日(日)に開かれた。大会には、両町の小・中学生約百二十人が参加、競技は団体と個人戦合せて八種目が行なわれ、チビッコ剣士たちは、父兄の声援を受けながら、元気に試合をくり広げた。

成績は次のとおり

- ◆団体▽小学低学年①桑折A②桑折D③桑折B▽小学高学年①国見A②桑折A③桑折C▽中学生①国見A②桑折A③国見E◆個人▽小一、二年①阿部仁志(桑)②吉田



- 有希(桑)③八島卓也(国)▽小三、四年①大泉忠雄(桑)②高橋慎一(国)③平桂子(国)▽小五、六年①阿部英児(桑)②吉田勝(桑)③遠藤武幸(桑)▽中学生男子①岡崎賢(桑)②阿部達也(桑)③鈴木信幸(国)▽中学生女子①佐藤寿子(国)鈴木静(国)③佐藤秀子(国)



### 公民館前

## 通路を舗装。

今まで、公民館等を利用して  
いる町民のかたがたから要望され  
て、「公民館前の道路はデゴ  
ボコ道だない」などといわれて  
きました。今回の舗装により、ま  
して、デゴボコのない快適な通路に  
変身し利用者の皆さんより喜ん  
でいただいております。



### 文連紹介

## 木曜会

崎藤村の作品をゆつ  
くりと読み、一つの  
作品をじっくり読み  
あうことで、その中  
から自分達に身近か  
な問題をみつつけ語り  
あつていきます。今年  
は、藤村のふるさと

私どもの木曜会は、去る四十九  
年末に、村上直治先生を、講師に  
おむかえして、月一度の読書会を  
しております。現在十二名の会員  
で、活動している会です。それぞ  
れ忙がしい主婦ばかりですが、月  
一度の例会は、それはにぎやかに  
たのしく、テキストを中心におし  
やべりに時をすごし  
ます。主として、島

木曾路を訪ねる企画があり、一同  
たのしみにしております。又、読  
書のため自分たちだけでな  
くという考えから、昨年度から弱  
視児童のための拡大写本を協力し  
て行っております。なかなか根気  
のいる仕事ですが、とても勉強に  
なり、楽しい仕事でもありますの  
で、年間を通じて奉仕したいと思  
っております。興味のある方は是非  
御一報下さい。尚今年の最大の  
目標は、「くにみまら」のきまぎ民  
話をまとめてしまふことです。  
これはもう足かけ四年近く教育委  
員会に協力して行っているもので、  
町の古老にお聞きしたものが大  
分たまりました。何とか形にした  
いと一回張り切っております。皆  
様の御支援を心からお願ひ申し上  
げます。

会長 内池 和子

### 加入済ですか

## スポーツ傷害保険



これからスポーツのシーズン、  
あなたの地区のスポーツ振興会  
では、スポーツ安全協会傷害保険  
に加入されましたか？  
昨年までの保険は三月で終了で  
す。  
くわしくは、公民館まで!!

## 図書寄贈

錦町の佐藤勝太郎さん(つばめ  
理容所)から公民館へ、一般図書  
四十四冊、趣味の本(さつき)二  
十四冊寄贈されました。  
ありがとうございます。

## 合同習作展

五月四日(火)五日(子どもの日)  
の両日町公民館において、日本画  
・書道・刻字・カメラ各クラブの  
合同習作展を開きます。

ご家族、またはお友達とぜひ公  
民館へお立ち寄りください。

時間は、四日午前九時より午後  
五時まで、五日午前九時より午後  
四時まで。

お待ちしております。

## 川柳

- 減反で  
仲の嫁を取りそこね
- おへらうら  
しうとの年金目につけて
- マイホーム  
買って宿六ババとなり
- 一輪の  
梅咲き初めて彼岸入り  
松風

## 文芸欄

公民館だよりでは、文  
芸欄をもうけました。季  
節を折り込んだ俳句、川  
柳、短歌などを皆さんの  
投稿をお待ちしておりま  
す。

くわしくは公民館  
または役場企画課へ

## あつかし俳句会

昭和五十七年三月二十七日

- \*春一番沿辺の梢を見上げたり
- \*らくこや遠かに半田の峯晴るる
- \*春一番乱れ髪往く道路鏡
- \*ヒヤシンスのどこどなく大人びて
- \*梅の下妻の一言若かりし
- \*春の雨樋を流れて音も無し
- \*葱搥つてじき師好みの酢味噌和へ
- \*孫抱いてぶらんこに乗りゆれてみる
- \*露のうちはぬとろに七つ八つ
- \*木の芽料理もてす血は有田焼

- 奥山 甲二
- 小野寺 萬水
- 阿部しげを
- 増田三果樹
- 渋谷 良一
- 高橋 涌水
- 菅野かほ子
- 鈴木 幸子
- 原田 和喜
- 佐藤 ナツ

わだ い



人名救助

溺れる幼児を助ける

去る四月二日午後一時四十分頃 観月台公園の用水池に落ちた幼児

を、町の体育指導員と公民館員が無事救助しました。

崎太子堂が見つけ町体育指導員の羽根俊一さん(三四)崎太子堂六に知らせました。

知らせを受けた羽根さんは、深さ三メートル程もある池の底に仮死状態で沈んでいた幼児を引き上げ、救助経験豊富な公民館職員、八巻忠義さん(二三)山崎大坂二、が人工呼吸を施した結果、蘇生しました。

池に落ちたのは、Aさんの幼児で友達二人と池端で遊んでいたものです。高さ八十七センチのフェンスを乗り越えて、誤って落ちたものです。助けられた人々には近づく人命救助で表彰されることになりました。

幼児には、一人遊びをさせないようにはしましょう。

戸籍の窓口

(3月受付)

出生おめでとうございます

- 館根二十三内寺西館内城二 山崎 明山崎 十 山崎 明山崎 十 山崎 明山崎 十 山崎 明山崎 十...

ご結婚おめでとうございます

- 前前南戸籍町二町町北市南町二百十四下館 町木小原 島町島町原 島 谷田崎 高宮宮天山保第本員福宮福大保第福第内東山...

おくやみ申し上げます

- 前前北北取橋北西北町東田館東南 江町 町 母田崎町 母田崎町 母田崎町...



安孫子清さん



羽根俊一さん



八巻忠義さん

伊達地方消防組合で購入した新鋭ハシゴ付消防車の披露が、春がすみに煙る四月十三日、町役場前駐車場で行われました。

伊達地方消防組合 新鋭ハシゴ車



人口と世帯

Table with columns for population and households in April, March, and February. Includes sub-totals for males, females, and total population.

編集日記

○私たちの朝は目が覚めると、歯をみがき、ひげをあたり、お茶を飲みながら新聞を読む。休日ならば、ちよつとふくらんだ財布を持ち、ジーンズにシヤレたシャツを着こんでデートに出かけるのも悪くない。

